学校番号	４１０

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報Ⅱ　（東京書籍）						
副教材等	プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報Ⅰで学んだ内容を基礎として、コンピュータの構成や仕組み、情報システムについて理解します。また、プログラミングの実習を通じて、プログラムの制御構造や処理手順を学びます。
AI の利用や、DX 化など、新たな技術がもたらす社会の変化について学習します。ユニバーサルデザインやインターフェースについて、実習を通して体験的に理解を深めます。
情報社会の安全を守るためのルールやマナーについて考察し、個人の責任を理解するとともに情報社会の発展について考察します。

2　学習の到達目標

情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに､情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ､情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、情報技術を主体的に活用し、情報社会の発展に主体的に寄与しようとする。	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響及び身の回りの問題を解決するために情報や情報技術を活用することについて、科学的な考え方を活かし、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付け、効果的に活用している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章　情報社会	情報社会の進展と情報技術 POS システムを調べる。	a:情報システムとそれを実現している情報の流れを理解する。不正アクセスや情報漏洩などの具体的事例から、情報社会のリスクと対策を知る。 b:情報社会の法整備や情報モラルについて考え、行動することができる。 c:実習に主体的に参加し、情報技術について理解を深めようとしている。	発問 ワークシート 行動観察 実技テスト 定期考査	実技テスト ワークシート 実習作品 定期考査	発問 ワークシート 行動観察
		コミュニケーションの多様化 うわさの研究 協働学習 情報デザインの事例調査	a:状況に適したコミュニケーション手段を考え、選択することができる。話し合いの進め方を理解している。 b:効果的な情報デザインとはどのようなものか理解できる。コミュニケーション手段の分類や特徴を考えることができる。ICT を利用しまとめた意見を可視化できる。 c:主体的に考え、多様な意見をまとめようとしている。	発問 ワークシート 行動観察 実技テスト 定期考査	実技テスト ワークシート 実習作品 定期考査	発問 ワークシート 行動観察
2学期	2章　コンテンツ	メディアの特性と利用 コンテンツ制作 学校 PR プロジェクト(Web ページを作成する) 問題解決学習 相互評価	a:メディアの特性を理解できる。メディアミックスやクロスメディアの考え方を理解できる。問題を解決するための手順を可視化する方法がわかる。 b:学校 PR 方法をメディアの特性から判断することができる。情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できる。データ分析のために、知識を関連付けて考えることができる。 c:受け手のことを考え、分かりやすい学校 PR の Web ページを作ろうとしている。グループの中で、自分の役割を理解し主体的に行動している。	発問 ワークシート 行動観察 実技テスト 定期考査	実技テスト ワークシート 実習作品 定期考査	発問 ワークシート 行動観察
	3章　データサイエンス	人間の知的活動への影響 機械学習と人工知能 人工知能と仕事を考える。	a:データの分析の手法の進化を理解できる。教師あり学習と教師なし学習の違いが理解できる。人工知能、機械学習、深層学習の関係を理解している。 b:人工知能やロボットなどの情報技術の利点と課題を考えることができる。 c:人工知能が社会に及ぼす影響や変化について主体的に考えている。	発問 ワークシート 行動観察 実技テスト 定期考査	実技テスト ワークシート 実習作品 定期考査	発問 ワークシート 行動観察

3学期	4章 情報システム	情報システム 情報セキュリティ技術	a:情報セキュリティの基本的な考え方やセキュリティポリシーを理解できる。 暗号化技術、特に共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の仕組み、違いを理解できる。 b:情報システムのサービスを利用することによる暮らしの変化、効果や影響を考えることができる。 c:情報セキュリティについて、主体的に学ぼうとしている。	発問 ワークシート 行動観察 実技テスト	実技テスト ワークシート 実習作品	発問 ワークシート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現
　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。